

巻 頭 言

新津市では平成15年3月、「新津市環境基本計画」を策定した。環境面での将来像を「里山と田園の恵みに育まれる 緑の風薫るまち」とし、「人と自然が共生する地域社会の創造」を基本目標の一つとして、豊かな恵みと安らぎをもたらす信濃川、阿賀野川などの大河や新津丘陵の里山などの自然を、人間だけでなく生息・生育する動植物とともに享受できるようにしていくことを目指している。

そのため、動植物の生態・生育調査、絶滅危惧種や在来種の保護、植生の復元など、実態を調査・紹介しながら、その意味を確認し後生に伝えていくことが必要であり、新津市文化振興財団が石沢進氏にお願いしている植物分布の研究の重要性、また、年報発刊の意義がいっそう高まってきている。

このたび、「自然と人との調和、共存」にかかわる優れた研究を行った個人やグループに与えられる「松下幸之助花の万博記念賞」の奨励賞を石沢進氏が代表を務める「植物同好じねんじょの会」が受賞された。こうした地道な研究に光が当たることは誠に喜ばしいことであり、研究の成果を環境の保全に活かし、多くの皆さんの生活や文化の向上につなげることが私どもの責務であるとあらためて感じている。

今年度も資料調査や資料の提供、また貴重な図書・文献等の寄贈など多くの皆様からご協力をいただいた。厚く感謝申し上げますとともに、交流の輪が広がることにより連携した研究が進むことを期待する。

2003年3月

(財)新津市文化振興財団

理事長 湯 田 幸 永